

NEN

NEN

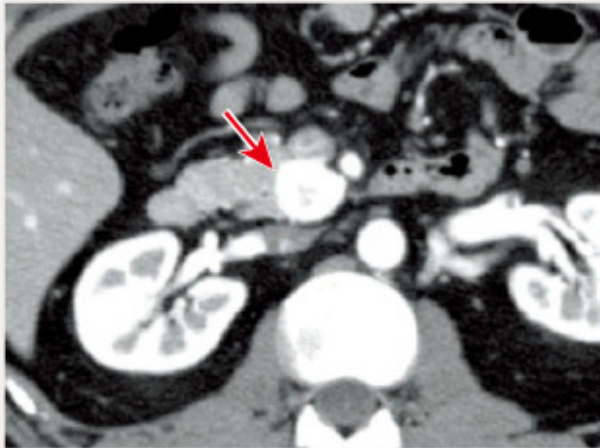
NEN NET CT MRI US EUS SRS

CT

CT NEN NET CT MRI US EUS SRS 1¹⁰ CT 2⁰

1 CT NET G1

Image



膵頭部に早期相にて強い造影効果を有する腫瘍(→)。



門脈相でも濃染は持続しているがその濃度は低下している(→)。

MRI

PanNET MRI T1 T2 2¹⁰ MRI
MRI Gd-EOB-DTPA MRI CT
2⁰

2 MRI NET G1

Image

T1WI



脂肪抑制T2WI



脂肪抑制T1WI



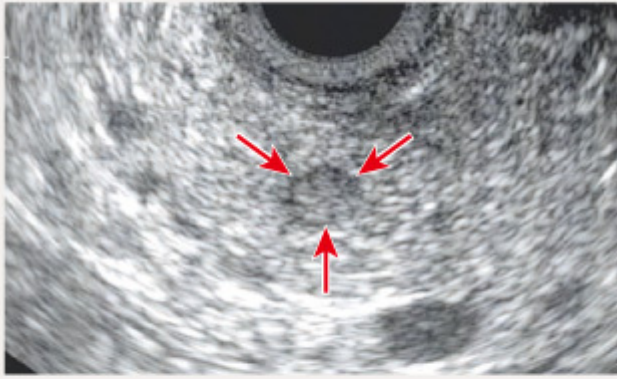
膵頭部にT1強調画像にて低信号(a) (→)、T2強調画像にて高信号(b)を示す腫瘤(→)。脂肪抑制T1強調画像(c)では、膵実質と比較し腫瘍の低信号がより明瞭である(→)。

US

EUS CT MRI PanNEN 3¹⁰ EUS NET 2 3 4¹⁰

3 EUS NET G1

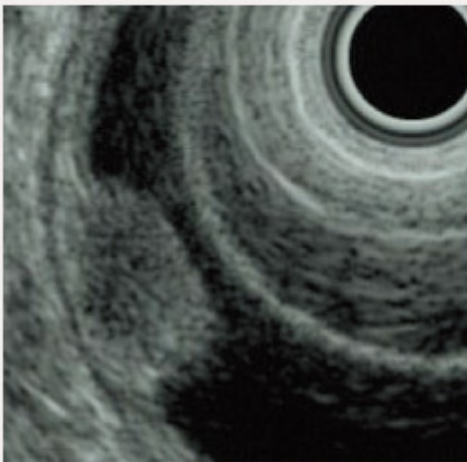
Image



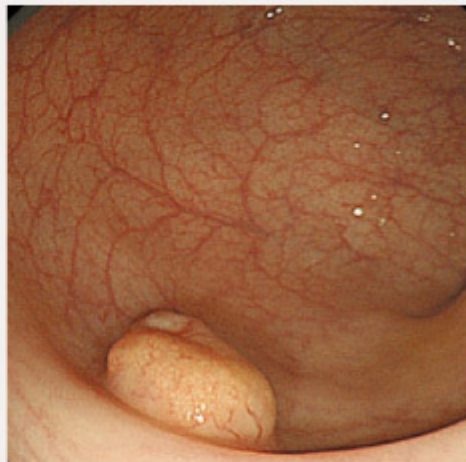
膵頭部に5mm大の類円形、境界明瞭な腫瘤あり(→)。

□4 EUS□□□□□NET□

Image

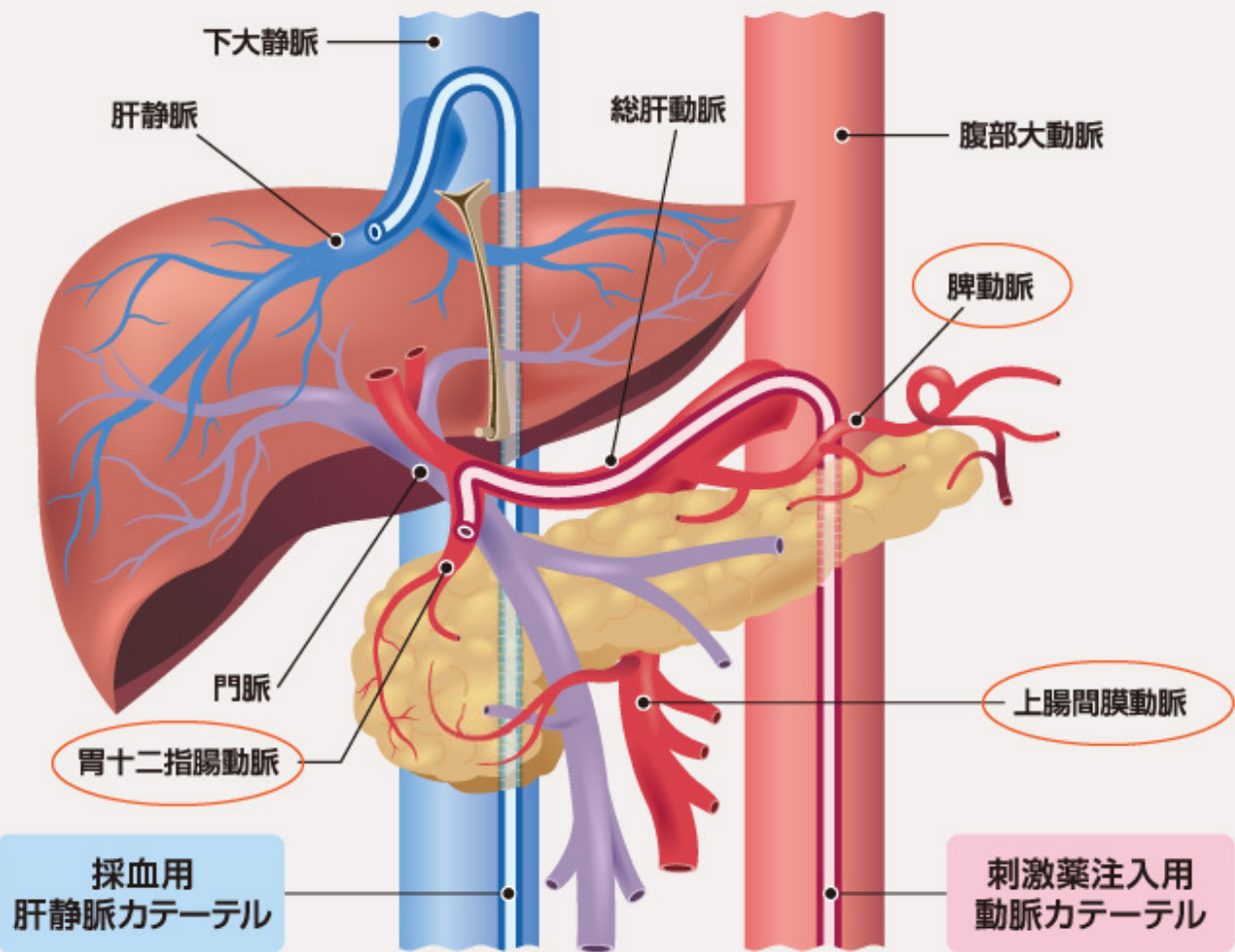


第2～3層を中心とした低エコーの腫瘤を認める。第3層は菲薄化を認めるも明らかな断裂は認めない。



直腸の表面に軽度の陥凹を伴った粘膜下腫瘍の所見を認める。黄色調の色調を呈し、表面は平滑で血管拡張を認める。

SASI Test



- 1 腹部動脈造影の後、静脈血採取用に肝静脈内にカテーテルを留置する。
- 2 脾・十二指腸領域を栄養とする動脈にカテーテルを挿入する。脾動脈、胃十二指腸動脈、上腸間膜動脈の各々に刺激物を注入する。
- 3 刺激前、刺激後20秒、40秒、60秒に採血して、肝静脈血中のホルモン値を測定する。
- 4 腫瘍の存在領域を栄養する動脈を刺激したとき、肝静脈血中のホルモン値が増加する。
- 5 NETの栄養動脈を同定して局在を診断する。

神経内分泌腫瘍 (NET) の診断における
選択的動脈内刺激薬注入法
(SASI test : Selective Arterial
Secretagogue Injection test) の重要性

VIDEO

NEN 1cm CT
NEN
90
TAETACE
NEN

□□□

1. □□□ □. □□□□□□□□□□NET□□□□□□□□□□, □□□□, □□, 2011
2. Sundin A, et al. *Neuroendocrinology*. 2017; 105: 212-244
3. Imamura M, et al. *Ann Surg*. 1987; 205: 230-239

□□□□□□□□□□□□



Source URL: <https://prod.pro.novartis.com/jp-ja/products/lutathera/diagnosis/05>